



## 目次

開催要項	1
フォトギャラリー	4
開催行事	10
記念講演	14
シンポジウム	24
閉会行事	44
第1分科会	45
第2分科会	52
第3分科会	59
第4分科会	66
第5分科会	73
大会を終えて	80
都道府県別参加者数	81
大会役員名簿	82
大会実行委員等名簿	83
大会協力員・キャリア会名簿	87

# 開催要項

## 1. 大会スローガン

「社会教育で創る 育む つなげる 共生の未来へ」

## 2. 研究主題

すべてのひとが学び続けられる社会をつくるために社会教育ができること

## 3. 趣 旨

人生 100 年時代といわれている昨今、グローバル化や地球環境問題、少子化・人口減少、都市地方格差による様々な社会問題が取り上げられる中、継続的な生涯を通じての学び、誰もが活躍できる環境の整備、持続可能な社会の構築が求められ、社会教育の役割が期待されています。

今回の神奈川大会では「すべての人が学び続けられる社会をつくるために社会教育ができること」をメインテーマとして研究大会を開催いたします。

開港 166 年を迎え日本の伝統文化と近代的な都市との融合がみられる神奈川県「横浜」の地で、これからの社会教育について、私たち社会教育委員に何ができるのか、何を担うべきかを考える 2 日間としたいと思います。

## 4. 主 催/共 催

一般社団法人全国社会教育委員連合、関東甲信越静社会教育委員連絡協議会、第 56 回関東甲信越静社会教育研究大会神奈川大会実行委員会、神奈川県社会教育委員連絡協議会、神奈川県教育委員会、横浜市教育委員会

## 5. 後 援

神奈川県、横浜市、神奈川県公民館連絡協議会、神奈川県地域婦人団体連絡協議会、神奈川県社会教育協会、神奈川新聞社、t v k (テレビ神奈川)

## 6. 期 日

令和 7 年 11 月 20 日(木)・21 日(金)

## 7. 参加者

関東甲信越静各市町村社会教育委員及び事務局関係者  
同地区の社会教育関係団体会員、社会教育施設職員等社会教育関係者  
同地区の地域住民、NPO 法人、社会教育士、  
学校関係等生涯学習・社会教育に関心のある方

## 8. 参加費

4,000 円 (参加資料代等) ※学生は 2,000 円

## 9. 日 程

	11:00	12:00	12:30	13:00	13:10	14:10	14:20	16:20	16:40	18:30	
第1日目 11月20日(木) 【全体会】		受付	歓迎セレモニー	開会行事		記念講演		シンポジウム	閉会行事		情報交換会
第2日目 11月21日(金) 【分科会】	9:30	10:00								12:30	
		受付	分科会 (分科会ごとに開会)								

## 10. 会 場

### 【第1日目】

#### <全体会>

関内ホール（大ホール） 〒231-8455 横浜市中区住吉町4-42-1  
JR 関内駅北口徒歩6分、市営地下鉄ブルーライン関内駅9番出口徒歩2分

### 【第2日目】

#### <第1分科会>

関内ホール（小ホール） 〒231-8455 横浜市中区住吉町4-42-1  
JR 関内駅北口徒歩6分、市営地下鉄ブルーライン関内駅9番出口徒歩2分

#### <第2分科会>

横浜市開港記念会館（講堂） 〒231-0005 横浜市中区本町1-6  
みなとみらい線日本大通り駅1番出口徒歩1分  
JR 関内駅南口徒歩10分

#### <第3分科会>

横浜情報文化センター（情文ホール） 〒231-0021 横浜市中区日本大通11  
みなとみらい線日本大通り駅3番情文センター口直結  
JR 関内駅南口徒歩10分

#### <第4分科会>

横浜市技能文化会館（ホール2） 〒231-0031 横浜市中区万代町2-4-7  
JR 関内駅南口徒歩5分  
市営地下鉄ブルーライン伊勢佐木長者町駅2番出口徒歩3分

#### <第5分科会>

かながわ県民センター（ホール） 〒221-0835 横浜市神奈川区鶴屋町2-24-2  
JR・みなとみらい線横浜駅きた西口徒歩5分

## 11. 大会内容

### 【11月20日(木)】 第1日目 <全体会>

(1) 歓迎セレモニー 「中華獅子舞」

(2) 開会行事

- ①主催者あいさつ ②来賓祝辞 ③歓迎のことば ④来賓紹介

(3) 記念講演

テーマ：「誰もが自分らしく生きることができる社会をめざして」

認定 NPO 法人スローレーベル 栗栖 良依 氏

東京 2020 オリンピック・パラリンピック競技大会から、準備期間を含めると 5 年以上が経ちました。パラリンピック開閉会式ステージアドバイザーを務めた御経験等から、「誰もが自分らしく生きる」ということについて、この間の社会の変化や未だ実現には至らない課題等、テーマに迫るお話をいただきます。

(4) シンポジウム

テーマ：「すべてのひとが学び続けられる社会をつくるために社会教育ができること」

すべてのひとが学び続けられる社会とは。学び続けることが困難な社会とは。学び続けることが困難な人とは。困難を抱える社会・人に対して、社会教育の観点からは何ができるでしょうか。社会教育委員としてできることはどんなことでしょうか。シンポジストそれぞれの御経験やお考えを伺いながら、テーマに迫ります。

(5) 閉会行事

- ①次期関東甲信越静社会教育研究大会開催県あいさつ（群馬県）

- ②全員合唱 ゆず「栄光の架橋」 作詞：北川悠仁 作曲：北川悠仁

- ③閉会のことば

【11月21日（金）】 第2日目 <分科会>

	分科会名	テーマ	発表市町村 (都県)
第1分科会	地域の教育力の再生と社会教育委員の役割	地域の教育力の低下が指摘される中、地域の教育力を再生していかなければならない。その再生にむけた社会教育委員の役割について考える。	① 下諏訪町 (長野県) ② 海老名市 (神奈川県)
第2分科会	次の世代につながる持続可能な社会	予測できない未来に向け、持続可能な社会の担い手を育成するために社会教育ができることを考える。	① 市貝町 (栃木県) ② 藤沢市 (神奈川県)
第3分科会	家庭教育支援	子育て・家庭教育の大切さを認識し、地域・学校など社会全体で支えるような親や子どもを支援していく取組について考える。	① 高崎市 (群馬県) ② 寒川町 (神奈川県)
第4分科会	共生社会の実現	年齢、性別、障がいの有無、文化的背景等に関わりなく、誰もが豊かな人生を享受することができる共生社会の実現にむけた社会教育の役割について考える。	① 川崎市 (神奈川県) ② 茅ヶ崎市 (神奈川県)
第5分科会	地域学校協働活動	地域学校協働活動において地域の資源を生かし、活動をとおして地域の活性化を図り、積極的な世代間交流につなげる取組について考える。	① 見附市 (新潟県) ② 真鶴町 (神奈川県)